

Looker で挑む！ ふるさと納税サイト「ふ るさとチョイス」のデータ 活用改革

Google
Cloud
Next

Tokyo

Proprietary



突然ですが、こんな ”データあるある ”ありませんか？

「この数値、どのデータが正しいの？」
「分析依頼したけど、いつ返ってくるの ...？」
「似たようなダッシュボードが大量にあって、
どれを見ればいいのか分からない ...」



本日のゴール

皆さんが「Looker、うちでも使えるかも！」
と思ってくださること



目次

- 01 自己紹介・会社紹介
- 02 ふるさとチョイスのデータ活用の課題
- 03 Looker への挑戦と移行の道のり
- 04 使ってわかった Looker の魅力と今後の展望

01. 自己紹介

自己紹介

まちだ やすのり

町田泰基

株式会社トラストバンク
チョイス事業部
データマネジメントグループ
奇跡の出会いがあり、
2019 年新卒入社



会社紹介



TRUST BANK

会社名

株式会社トラストバンク

設立

2012 年 4 月 2 日

社員数

274 名 (2025 年 3 月末時点)

Vision

自立した持続可能な地域をつくる

事業内容

下記にいくつか載せました



ふるさと納税



自治体 DX



地域通貨

02. ふるさとチョイスのデータ活用の課題

私たちが直面した課題



アナリストしか SQL でデータを抽出できず、スピード感到課題



あらゆるデータを各部が自由にデータ分析する環境がない



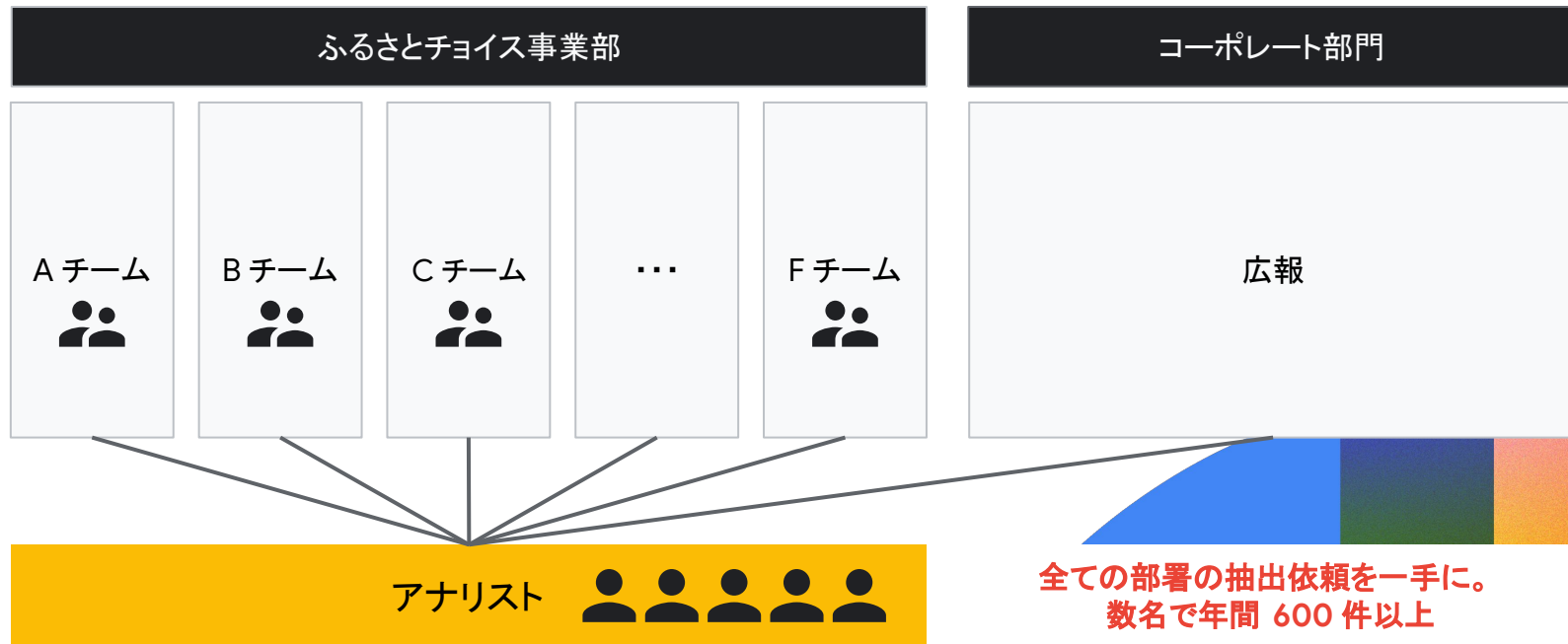
指標の定義が複数存在し、管理が複雑



似たようなダッシュボードが乱立

課題①②③④

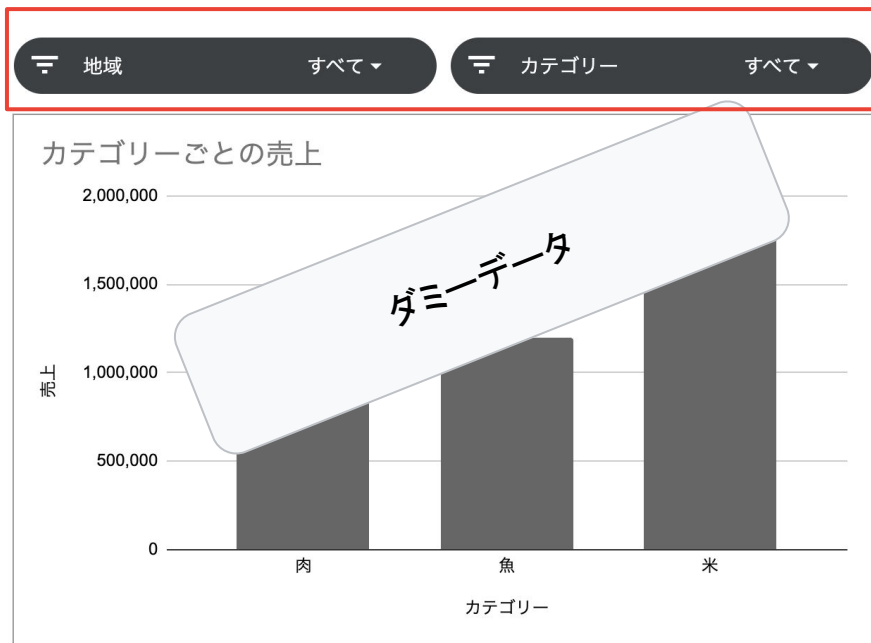
アナリストしか SQL でデータを抽出できず、スピード感に課題



全ての部署の抽出依頼を一手に。
数名で年間 600 件以上

課題①②③④

あらゆるデータを各部が自由にデータ分析する環境がない。
分析の切り口があらかじめ用意したフィルタでしかできない



課題①②③④

指標の定義が複数存在し、管理が複雑

ふるさとチョイス事業部

Aチーム



売上マートA

条件 X に当てはまり、
Y の値は除いた 売上を見たい

Bチーム



売上マートB

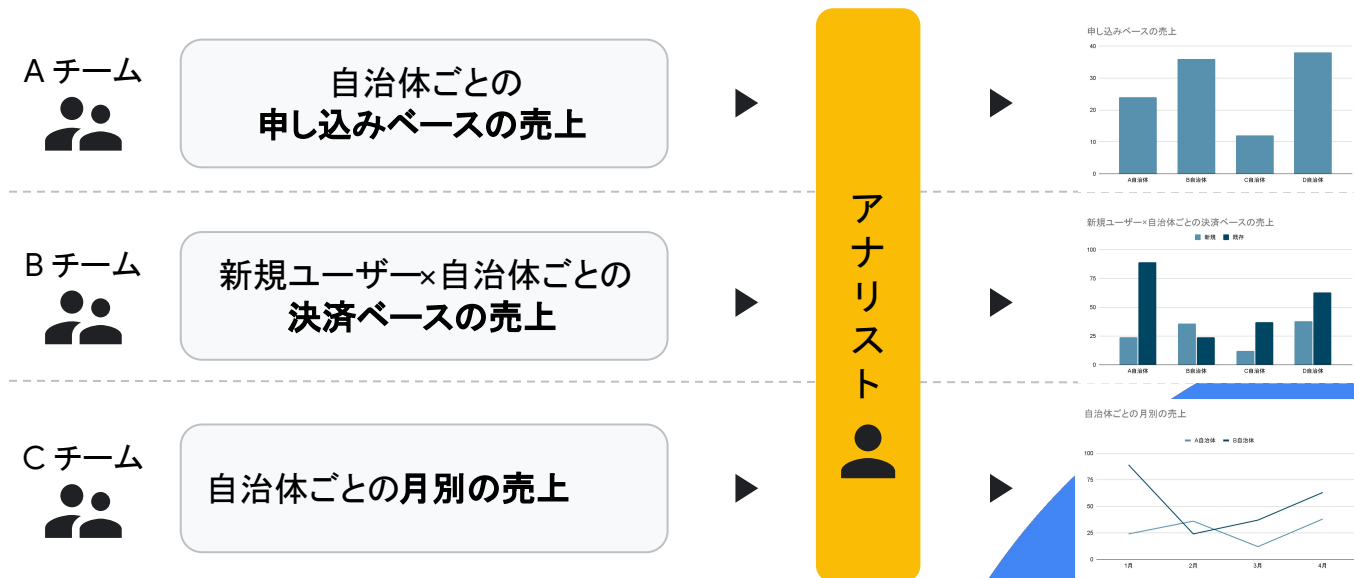
条件 Z に当てはまり、
Y の値は含んだ 売上を見たい

結果、様々な「売上」が社内にはびこる

課題①②③④

似たようなダッシュボードが乱立。

部署最適にはなったが全体最適にするのは困難だった



03. Looker への挑戦と移行の道のり

なぜ "Looker" だったのか？

Looker の思想が、私たちの課題に完璧にフィットしたから。

そもそも Looker とは？

BI 機能も持つ、データ活用プラットフォーム

キーワード

SSOT (Single Source of Truth)

Looker



・SSOT による指標の統一

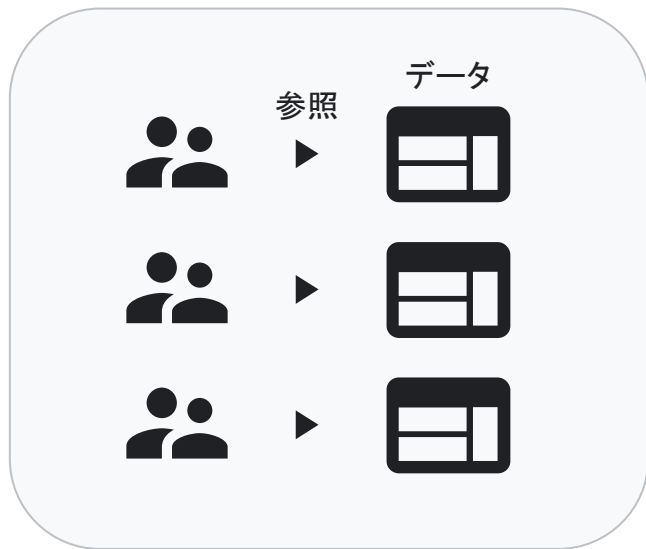
他 BI ツール

- ・BI 機能
- ・データの可視化

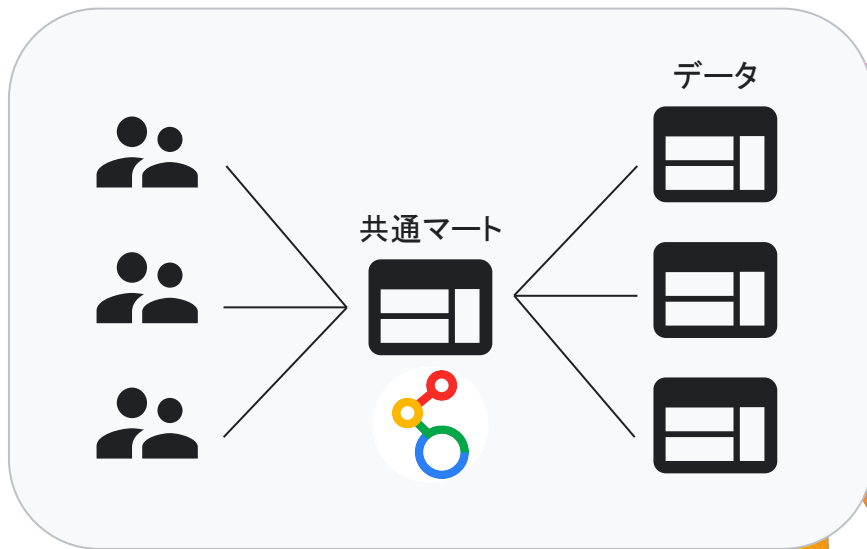
Lookerの思想「SSOT (Single Source of Truth)」とは？

指標や項目、定義を一元管理し、データの信頼性を担保する仕組み

Before



After



PoC(概念実証)で見た光明

Looker なら課題解決できると確信し、既存のBI ツールからの移行を決めた。

課題

アナリストしかSQL でデータを
抽出できず、スピード感到課題

あらゆるデータを各々が自由に
データ分析する環境がない

指標の定義が複数存在し、管理が複雑

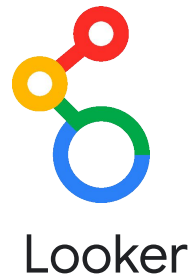
似たようなダッシュボードが乱立

解決策

汎用的な事業データを
誰もが自由に活用

統一されたデータ定義の元、
正しい事業判断へ

ダッシュボードの棚卸しし、
Looker studio との併用



既存のBIツールから Looker移行

2024.3

Looker PoC 実施

- ・その後社内で検討し、本導入を決定

2024.9

既存ダッシュボードの棚卸し

- ・全社的な指標のダッシュボードは Looker 移行
- ・各部で見るダッシュボードは Looker Studio へ移行
- ・見られていないダッシュボードは削除

→ 200 超あったダッシュボードを 1/3 に絞り込み

2024.10-11

マート共通化の要件定義

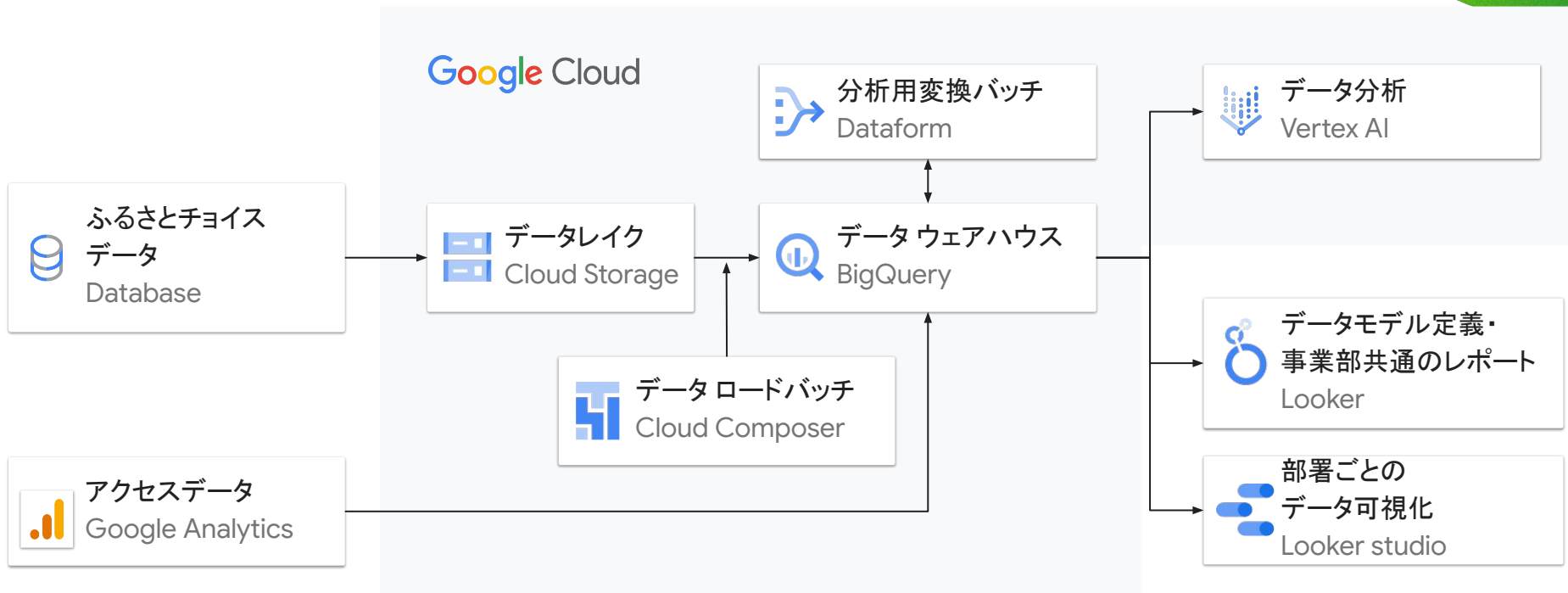
- ・主要な指標、分析軸を洗い出し定義を決める

2024.11 - 2025.3

Looker 移行対応

- ・3 人月で 5 ヶ月間かけて移行

Looker 移行後のデータ アーキテクチャ



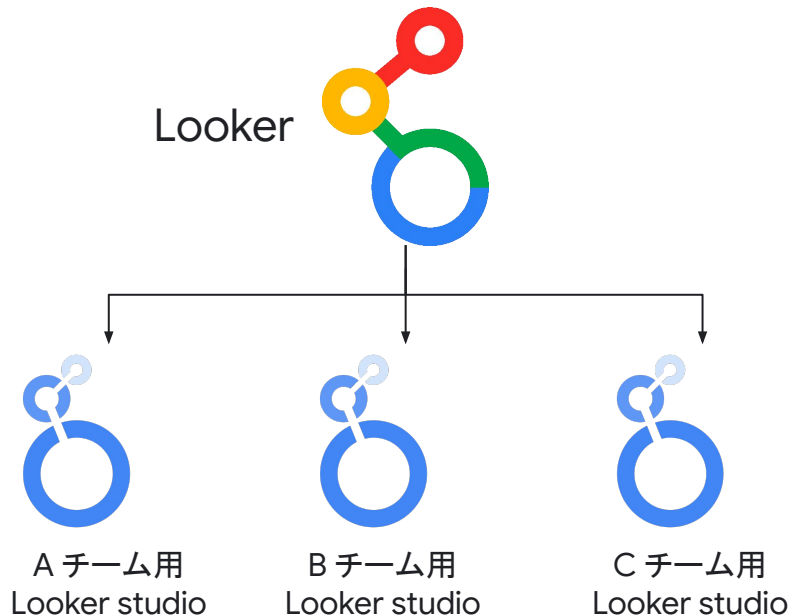
04. 使ってわかった Looker の魅力と今後の展望

Looker 移行で何が変わったか

項目	Before (旧 BI)	After (Looker & Looker studio)
表示速度	 データ量が 2,000 万行超えると動かなくなる	 データ量が 1 億行超えても数秒で動く
データの信頼性	 依頼ベースのデータマートが乱立	 SSOT (Single Source of Truth)
ビジュアライズ	 凝ったものが作れる	 可視化は一通りでき、 ビジュアライズで困ることはない
文化	集計データの接続となり汎用的ではなく、 依頼ベースでダッシュボードを作らざるをえない	汎用データマートを用いて、 セルフで抽出することが容易になった

そのほか Looker の嬉しいポイント① ②

Looker のデータを Looker studio から参照できる。

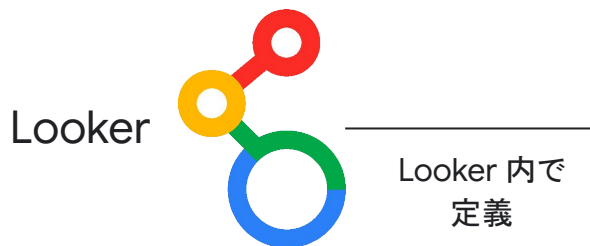


**SSOT (Single Source of Truth) で
信頼できるデータかつ、
汎用的に使えるローデータ**

**SQL を書かずに
各部で自由な分析が可能**

そのほか Looker の嬉しいポイント ①②

Looker API を使って Looker のメタデータを BigQuery に送ることができる。



▼ 自動連携



テーブル名	テーブル説明	カラム名	カラム説明
orders	寄付に関する テーブル	id	注文を一意に識別するID。 決済完了時に採番される。
		created_at	ユーザーが注文を完了した日時(日本時間)。
		user_id	注文したユーザーのID。 会員でない場合はNULL となる。
		gmw	送料や手数料などを含む、 決済された寄付の総額(円)。

常に最新の信頼できるデータ定義を一元管理することができる。

BigQuery 内で自然言語でクエリ書くことなどにも生かせる

今後の展望 Looker × Gemini ①②

自然言語で時系列の集計が正確にできる。分析情報も提供してくれる。



エリア別の寄付額を月別の推移で

デバッグ情報
5分

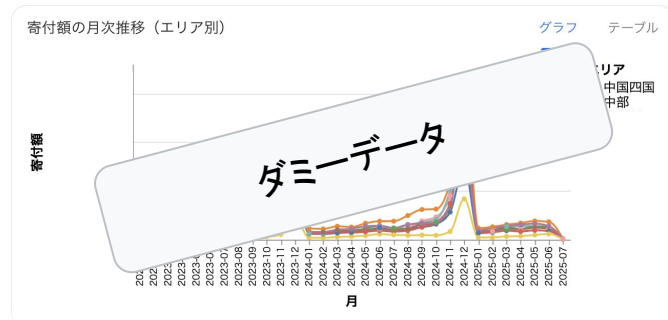


I'll write a query for the question: "エリア別の寄付額を月別の推移で"

Here's the query result.

	Tax Detail Area	Tax Detail Donation Month	Tax Detail 寄付金額
1	近畿	2023-01	
2	北海道	2023-01	
3	中国四国	2023-01	

グラフの種類を折れ線グラフに変更してください。X軸を月、Y軸を寄付額、系列をエリアとしてください。



分析情報の例

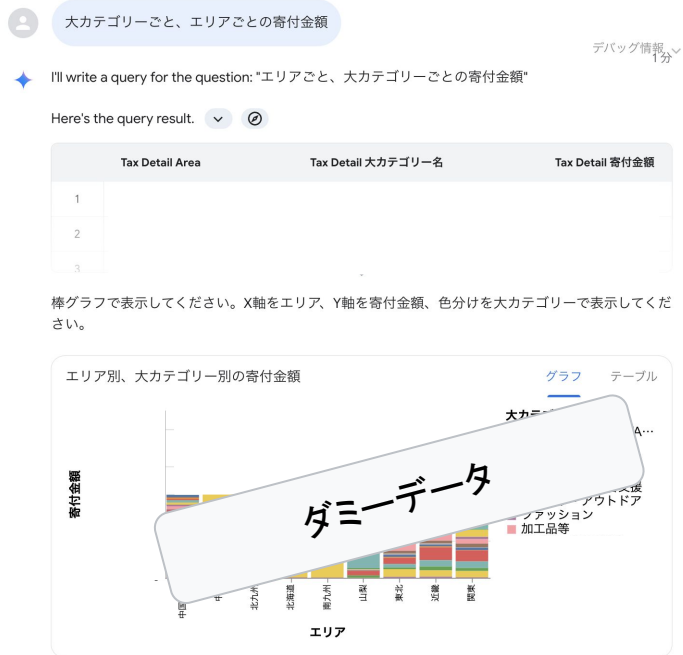
〇〇エリアは一貫して高い合計注文額を記録しており、20xx 年 12 月にはピークを迎えています。これは、この地域の堅調な販売実績を示唆しています。

△△エリアは、観測期間を通じて他の地域と比較して常に最も低い合計注文額を示しています。

■ ■ エリアでは、20xx 年後半に合計注文額が大幅に増加しましたが、20xx 年初頭には減少に転じました。

今後の展望 Looker × Gemini ①②

ディメンションごとの集計もできる。



分析情報の例

〇〇エリアは魚介類の注文額が最も高く、一方、△△エリアは肉の売上が上位を占めています。

〇〇エリアと□□エリアでは、米の注文額が同程度です。

まとめ

Looker は単なる BI ツールではなく、**データ活用文化そのものを変革するプラットフォーム** です。

私たちが直面した課題

アナリストしか SQL でデータを抽出できず、**スピード感に課題**

あらゆるデータを各々が自由に**データ分析する環境がない**

指標の定義が複数存在し、**管理が複雑**

似たようなダッシュボードが**乱立**

Looker がもたらすもの

事業部全体のセルフ抽出・分析

信頼できる唯一の指標 (SSOT)

高速なデータ探索と意思決定



Looker